

令和7年度秋期 データベーススペシャリスト試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2025.12.25

10月12日（日）に行われた令和7年度秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとに、情報処理安全確保支援士試験の分析コメントをお知らせします。

■データベーススペシャリスト試験 (DB)

〔令和7年度秋期 データベーススペシャリスト試験 統計情報〕

応募者	14,416人
受験者	9,769人
合格者	1,796人
合格率	18.4%

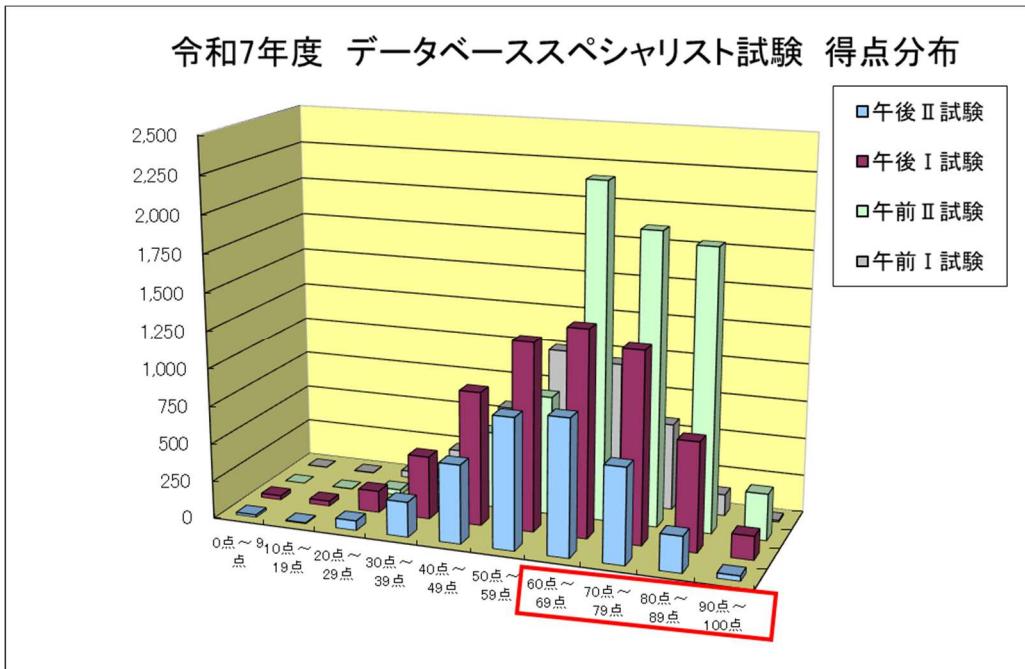
令和7年度秋期実施のデータベーススペシャリスト試験の合格率は18.4%で、前回の17.2%から1%ほど上がっていますが、過去2番目に高い合格率でした（最も高かったのは令和5年度の18.5%）。

次に発表された得点分布の分析とグラフを示します。

〔令和7年度秋期 データベーススペシャリスト試験 スコア分布〕

得点	午前I試験	午前II試験	午後I試験	午後II試験	合格者
0点～9点	2	0	28	16	
10点～19点	3	2	33	6	
20点～29点	45	37	144	64	
30点～39点	235	112	418	232	
40点～49点	574	508	884	518	
50点～59点	1,004	789	1,244	862	
60点～69点	949	2,225	1,364	897	
70点～79点	577	1,934	1,259	628	
80点～89点	142	1,859	717	237	
90点～100点	11	307	156	34	
計	3,542	7,773	6,247	3,494	1,796
対前試験比率		219.5%	80.4%	55.9%	51.4%
午前I免除者概算	6,227	63.7%			

合格者数	1,796	採点者数の割合	合格者数との差
午前I 60点以上合計	1,679	47.4%	-117
午前II 60点以上合計	6,325	81.4%	4,529
午後I 60点以上合計	3,496	56.0%	1,700
午後II 60点以上合計	1,796	51.4%	0



午前 I 試験免除対象の人も増える傾向がありますが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 6,227 人 (63.7%) おり、受験者の 6 割の人が午前 II からの受験となっています。この午前 I 試験で基準点 60 点以上取ることができた人は今回 1,679 人 (受験者の 47.4%) でしたが、前回は受験者の 74.4% だったので、かなり減りました。

午前 II で基準点以上の人には 6,325 人 (受験者の 81.4%) で、前回の 83.3% から減っています。なお、今回の採点数は 7,773 人ですが、前回は 8,790 人で 1,000 人ほど減っています。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 56.0% で、前回の 45.0% からかなり増えています。また、午後 II で基準点 (60 点) 以上取れた人は 51.4% で、こちらは前回の 53.8% から少し減りました。

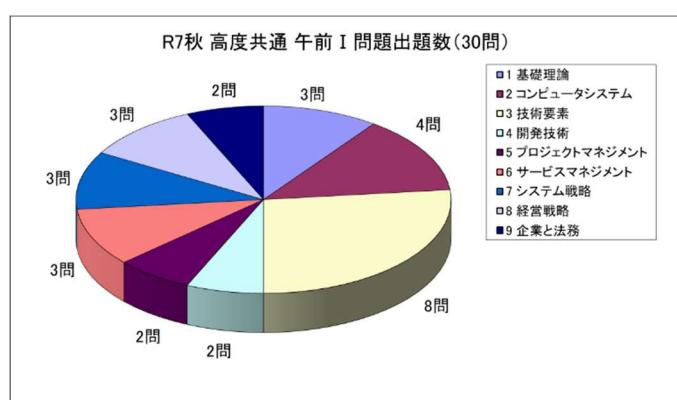
■令和 7 年度秋期 データベーススペシャリスト試験の出題内容について

[午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題)] 30 問出題／30 問解答, 50 分

高度試験で共通して出される午前 I 試験の 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) の午前試験 80 問の中から選ばれていて、テクノロジ系 17 問 (57%), マネジメント系 5 問 (17%), ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。

午前 I 試験には免除制度がありますが、高度試験を受ける人の約 4 割が午前 I 試験から受験しています。今回の午前 I 試験で 60 点以上の得点で突破できた人は高度試験全体で 40.6% いましたが (前回は 44.6%)、平均的には 5~6 割の突破率なので、今回と前回の試験が難しかったことを示しているといえます。出題範囲が広いため問題を難しく感じる人がかなり多く、最初の午前 I 試験でつまずかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識を理解していく必要があります。

- ・今回の午前 I 試験は、約 6 割が過去問題でしたが、難しい考察問題が減って、文章問題が増え、前回より解きやすい試験だったといえます。
- ・重点分野のセキュリティの出題数は前回と同じ 4 問で、最も多い出題数です。



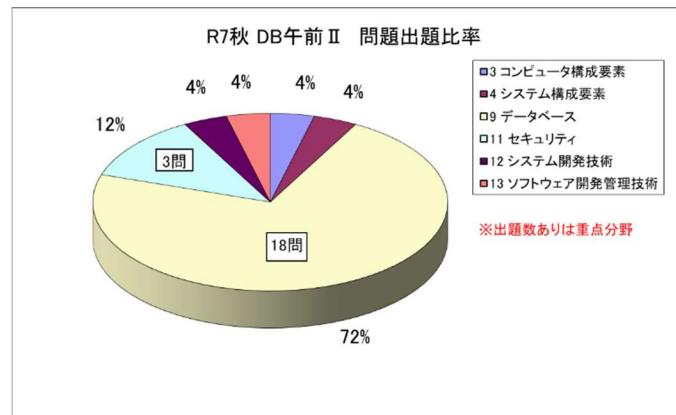
- ・新傾向問題は 7 問で前回の 8 問とほぼ同じでしたが、難しい内容のものは少なかったといえます。

[午前Ⅱ試験（専門知識問題）] 25 問出題／25 問解答, 40 分

午前Ⅱ試験はこれまで繰り返し出題される定番問題が多い傾向がありましたが、今回も新傾向問題は 5 問で、前回の 6 問とほぼ同じです。データベースの専門知識の出題数は 18 問で（前回と同じ）、過去問題も約 7 割で例年と同じ傾向でした。また、レベル 4 の内容まで出題されることになったセキュリティの問題は前回と同じ 3 問の出題で同じでした。

過去のデータベーススペシャリスト試験問題の出題は 12 問あり例年より多いといえます（前回 8 問）。これまでいろいろな年度からまんべんなく選ばれる傾向がありましたが、今回は令和 5 年秋試験の問題が 6 問もあり、特定年度の問題が多く選ばれていました。

出題されたデータベース専門分野の問題は、これまでよく出題されていた正規化の問題が 1 問（前回なし）、SQL が 4 問（前回 4 問）、ビッグデータ関連がなし（前回 2 問）、トランザクション処理関連が 5 問（前回 4 問）で、少し変化がありました。



[午後Ⅰ試験] 3 問出題／2 問解答, 90 分

午後Ⅰ問題の出題内容は、問 1 と問 2 が概念データモデリング、問 3 が SQL と索引を含むデータベース実装の問題で、前回出題されたデータベースの性能関連の出題はありませんでした。なお、これまで正規化理論に関する設問が問 1 で含まれることが多かったのですが、前回は出題がなく、今回は問 2 で出題されました。各問題でやや難しい設問が含まれていますが、全体としては、前回と同じ程度の難易度でした。

- ・問 1 大学の学習管理システムの概念データモデリング 普通～やや難
- ・問 2 化学メーカーの営業販売管理システムの概念データモデリング 普通
- ・問 3 オフィスじゅう器メーカーの在庫管理システムのデータベース実装 普通～やや難

[午後Ⅱ試験] 2 問出題／1 問解答, 120 分

午後Ⅱ問題の出題内容は、問 1 がデータベース実装・運用、問 2 が概念データモデリングで前回と同じでした。問 1 の運用関連の内容は、排他制御、2 相コミット、NoSQL データベースのリカバリに関するもので、NoSQL 関連は新傾向です。問 2 は概念データモデリング図へのリレーションシップの記入と関係スキーマの完成という定番の設問内容でした。

データベーススペシャリストの午後Ⅱ試験は、問題の分量が非常に多く内容を読み取るのが大変ですが、今回の問 1 は 13 ページ、問 2 は 12 ページあり、2 問とも問題分量が多かったといえます。また、難易度は 2 問とも普通～やや難で、前回よりも少し難しい内容が多かったといえます。

- ・問 1 コード決済業者の決済業務、ポイント管理業務のデータベースの実装・運用 普通～やや難
- ・問 2 宅配ピザチェーン店舗への資材配送業務の概念データモデリング 普通～やや難

■令和 8 年度のデータベーススペシャリスト試験の対策について

次回令和 8 年度から、応用情報技術者と高度情報処理技術者試験が PC で受験する CBT (Computer Based Testing) になることが IPA から公表されました。従来の記述式の設問も CBT で実施されることになっています。なお、データベーススペシャリストの午前ⅠとⅡの試験は A-1

と A-2 試験に、午後 I と午後 II 試験は B-1, B-2 試験となり、名称は変わりますが出題内容は変わらないとされています。

まず、科目 A-1 試験（旧午前 I 試験）対策で気を付ける必要があることとして、出題範囲が非常に広いため、計画立てなるべく早く試験対策を開始する必要があることです。過去の統計情報を分析すると、60 点以上取れた人は 4 割から 5 割台が多く、問題が難しいときには 3 割台のときもありました。また、過去に出題された高度の旧午前 II 試験の難しい問題も出題されることがあるので、過去に出題された応用情報技術者試験の問題を演習として活用して、日頃から知識を増やしていき、余裕をもって 7 割以上正解できるように理解度を上げてください。学習教材としては、これまで出題された出題内容のポイント事項と必須問題を重点的に解説したアイテック刊行の「2026-2027 高度科目 A-1・応用情報科目 A 試験対策書」で効率よく学習を進めてください。

科目 A-2 試験（旧午前 II 試験）ではデータベースの専門知識問題が出題されますが、科目 B 試験で出題される事例問題の内容を理解するための必須知識といえます。応用情報技術者試験で出題されるデータベース分野の知識を基礎として、さらに詳細な内容まで理解する必要がありますが、体系立て専門知識まで解説をしている教科書として、アイテック刊行の「データベース技術の教科書」があります。ぜひ、A-2 試験対策の教材としてご活用ください。

科目 B-1, B-2 試験（旧午後 I, 午後 II 試験）の対策としては、各問題の出題テーマに関連する専門知識を確実に理解し、問題事例に対して学んだ知識が適用できるようになるまで、しっかりと演習を行う必要があります。なお、専門知識の中でも特に重要な内容について解説し、科目 B 試験問題の解法ポイントを実践的に解説した参考書として、アイテック刊行の「2026-2026 データベーススペシャリスト「専門知識+科目 B」の重点対策」がありますので、科目 B 試験対策の教材として、ぜひご活用ください。